Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

取扱説明書

システムプリンター

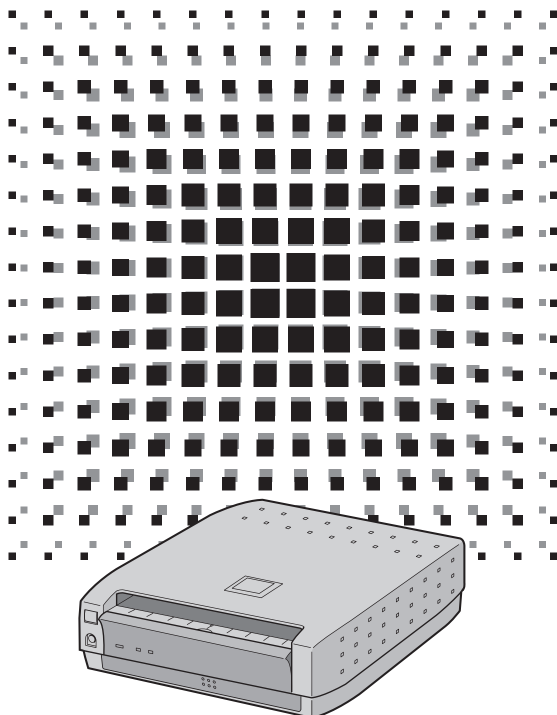
型名 GV-SP2

安全上のご注意

準備

パソコン編

その他



お買い上げいただき、ありがとうございます。

●ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

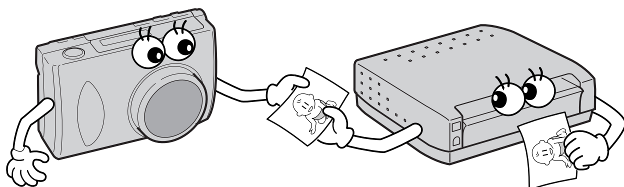
●製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製造番号が記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかを、お確かめください。

LYT0545-001A

主な特長

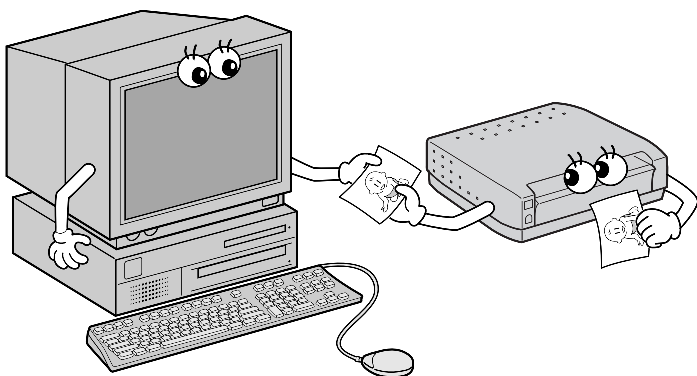
デジタルビデオ機器からダイレクトプリント

- 専用プリンター端子のあるデジタルビデオ機器とダイレクトに接続し、お好みの場面を手軽に枠無しプリントできます。



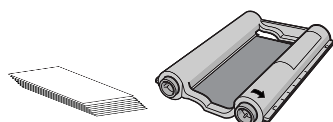
USB 対応パソコンからダイレクトプリント

- USB端子のあるパソコンと市販のUSBケーブルで接続し、お好みの場面を手軽に枠無しプリントできます。



もくじ

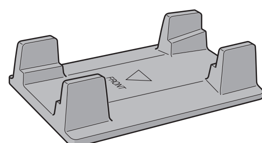
付属品について



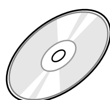
プリントペーパー&インクキット
（10枚用）



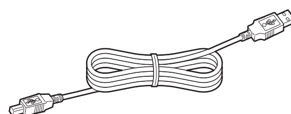
プリンターコード
長さ：約1.0m
ビデオ機器とプリンター接続用



スタンド



CD-ROM



USBケーブル（市販）
パソコンとプリンター接続用
（A-Bコネクタタイプ）

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

■本機を正しく安全にお使いいただくために必ずお守りください。

本機をご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

表示の意味は次の通りです。	
⚠警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性があるもの。



絵表示は、注意（警告を含む）が必要であることをお知らせしています。

例）⚠は「指をはさまれないように注意」



絵表示は、禁止行為であることをお知らせしています。

例）🚫は「分解禁止」



絵表示は、お守りいただく行為であることをお知らせしています。

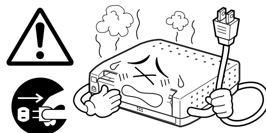
例）●は「電源プラグをコンセントから抜くこと」

※プリンターのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。

⚠警告

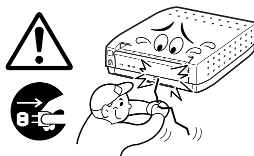
■万一異常が発生したら、電源プラグをすぐ抜く！！

煙が出たり変な音やにおいがするなど異常状態のまま使わないでください。火災、感電の原因となります。
このようなときはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険です。絶対におやめください。



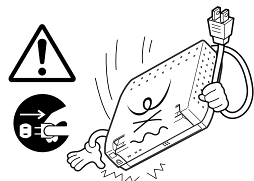
■異物を入れない、差し込まない 特にお子様にご注意を

火災や感電、故障の原因となります。
本機の給紙トレイ挿入口や通風孔など本機の開口部から金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一異物が入った場合は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



■落としたり、キャビネットが壊れたときなどは、電源を切り、電源プラグを抜く

- ●販売店に修理を依頼してください。
- ●そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- ●お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。



■電源コードを大切に

電源コードの上に、重い物をのせたり、熱器具に近づけないでください。電源コードが破損します。
電源コードに傷がつくと火災、感電、故障の原因となります。
電源コードを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると火災、感電の原因となります。電源コードが傷んだらすぐに販売店にご連絡ください。電源プラグを抜くときは電源コードを引っぱらずに必ず電源プラグを持って抜いてください。



■本機のカバーをはずしたり、改造しない

内部には電圧の高い部分がありますので、手を触れると危険な上、故障の原因となります。内部の点検・調整は販売店にご依頼ください。
また、本機を改造しないでください。



安全上のご注意（つづき）

⚠警告

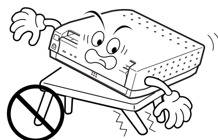
■電源はAC100Vを使う

ＡＣ１００Ｖ電源をお使いください。表示された電源電圧以外で使用すると、火災、感電の原因となります。電源プラグはコンセントにしっかりと差し込んでください。



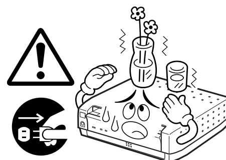
■本機を不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



■本機の上に花びんやコップを置かない

内部に異物や水や薬品等が入ると火災、感電の原因となります。万一、内部に液体が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。



■付属のCD-ROMをオーディオ用CDプレーヤーで再生しない

オーディオ用CDプレーヤーやCDラジカセで付属のCD-ROMを再生しようとすると、過大な信号が流れて、回路やスピーカーに障害を与えることがあります。

⚠注意

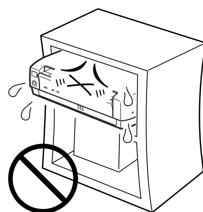
■本機の通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、本機上面、背面に通風孔が設けてあります。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

●押し入れ、木箱など風通しの悪い、狭い所に押し込む。
●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたん、布団、ホットカーペットの上に置く。

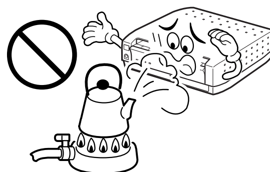
■本機を次のような場所には置かない

故障や火災、感電、変形の原因となることがありますので、本機を次のような場所に置かないでください。



●風通しの悪いところ
本機は風通しのよいところに置いてください。
システムラックに組み込んだときは、必ず本機とラックの間にすきまをあけてください。

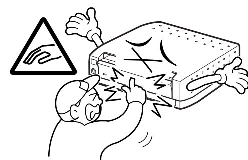
●湿気やほこりの多いところ
湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
油煙や湯気が当たるような場所はさけてください。



●高温になるところ
直射日光が当る場所や熱器具の近くなど異常に温度が高くなる場所に置かないでください。

■本機の開口部に指を入れない

給紙トレイ挿入口やインクカセット収納部など本機の開口部に指を入れないでください。やけどやけがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



安全上のご注意（つづき）

⚠警告

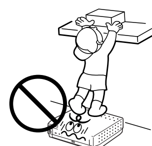
■ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。



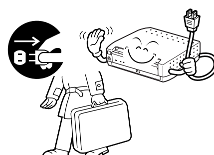
■上にのらない

倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。



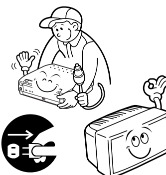
■長時間ご使用にならないときは

長時間の外出や旅行などで本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



■持ち運ぶときは

本機を持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。
故障の原因となることがあります。なお、移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続機器とのコードをはずしたことを確認してください。

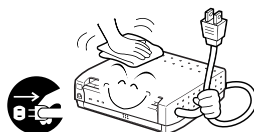


■海外では使用できません

このシステムプリンターを使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
<This SYSTEM PRINTER set can not be used in foreign coun-try as designed for Japan only.>

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。プラグを差し込んだ状態でのお手入れは、感電の原因となることがあります。



■5年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に点検をすると、より効果的です。
費用については販売店にご相談ください。



使用上のご注意

お願い

■使用周囲温度、湿度にご注意

周囲温度は5℃～35℃、湿度は20%～80%でお使いください。本機をシステムラックに組み込んだときは、ラック内の温度、湿度も上記の範囲でお使いください。

■使用環境にご注意

硫化水素、酸化イオウが発生する温泉地や、振動がある場所はさけてください。

■本機の上に重い物をのせない

本機の上に重い物を置かないでください。カバーを傷めたり、故障の原因となることがあります。

■接続機器について

本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」をよくご覧ください。

■プリントペーパー&インクキットについて

プリントペーパー、インクカセットの取扱いにはご注意が必要です。くわしくは“プリントペーパー&インクキット”（15 ページ）をご覧ください。

■つゆつきにご注意(本機に水滴がつくことをつゆつきといいます。)

つゆつきした場合はプリントペーパーの表面に湿気や露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因になることがあります。つゆつきしたり、つゆつきが起こりそうなときは、電源を入れたまま 2 時間以上おき、つゆつきの心配がなくなってからご使用ください。給紙トレイが装着されているときは、取りはずしてから電源を入れてください。
つゆつきしたプリントペーパーは正常にプリントできない場合がありますので、新しいペーパーと取り替えてください。

使用上のご注意（つづき）

お願い

■つゆつきにご注意（つづき）

つゆつきは次のようなときに起こります。

1. 部屋を急激に暖房したとき
2. エアコンなどの冷風を直接当てたとき
3. 本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき

■ゴミやホコリにご注意

プリントペーパーやインクカセットに付着したゴミやホコリ、あるいは低・高温時における変形等のためプリント画のなかに微妙な色抜けや色ムラ、スジ、シワが発生することがあります。
プリンターを長時間使用しないときは、排紙トレイを閉じ、給紙トレイは取りはずしておいてください。また、インクカセットを取り出し、インクカセット挿入ドアも閉めてください。

■ヘッド磨耗について

本機のサーマルヘッドは長時間使用するとビデオヘッドと同じように磨耗します。サーマルヘッドが磨耗すると鮮明な画像がプリントできなくなることがあります。このような場合はサーマルヘッドの交換が必要です。サーマルヘッドの交換は販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

■揮発性のものをかけない、ゴムやビニール製品を長時間接触させない

殺虫剤をかけたりベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり塗料がはげるなどの原因となります。
［化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。］
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により、変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■汚れたときは

本機が汚れたときは柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

お願い

■引っ越しや輸送のときは

引っ越しや輸送のときは、プリントペーパーおよびインクカセットを取りはずしてから梱包してください。（16、17）

■プリント中のご注意

プリント中に電源を切らないでください。
電源を切るときは、プリント終了後に切ってください。プリントが中断し、紙づまりの原因となります。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。 本機は、 家庭環境で使用することを目的としていますが、 本機をテレビやラジオなどに近接してご使用になると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

各部のなまえ

本体前面

インクカセット挿入ドア
開けてからインクカセットを入れます。

プリントデータ入力端子
ビクター製プリンター端子付きビデオ機器と接続します。
- デジタルスチルカメラ（GC-X1）
- デジタルビデオカメラ（GR-DVL700）

排紙口
印刷された用紙が出てきます。

電源ボタン

電源ランプ

プリントランプ
点滅中は画像データ受信中です。プリント中は点灯します。

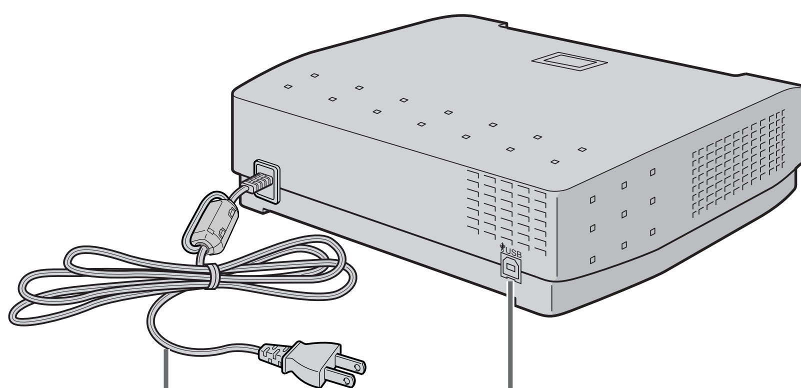
給紙トレイ
用紙を入れます。

エラーランプ
プリンターのエラーを知らせます。
- エラーランプとプリントランプが交互に点滅したときは、プリントペーパーの表裏を確認してください。（☞17ページ）
- 点灯または点滅になったら接続機器のメッセージを確認してください。

節電モードにするには

電源「切」の状態で、電源ランプが点灯するまで押し続けます。
- 節電モード時は、電源ランプが点滅します。
- 節電モード時、数10分間何も操作しないと、自動的に電源が切れます。
- 節電モードを解除するときは、電源ボタンを押してください。
- 再度、節電モードにするには、電源「切」の状態で、電源ランプが点灯するまで押し続けます。

本体背面



USB端子

市販のUSBケーブルを使って、パソコンのUSB端子と接続します。

• USBインターフェースをサポート

シリアルインターフェースの新しい規格であるUSB（Universal Serial Bus）をサポートしています。

電源コード

家庭用コンセント（AC100V）に差し込みます。
電源プラグをコンセントから抜くときは、電源ボタンを押して電源を「切」にしてから抜いてください。

プリントの準備

プリントする前に、次の準備をおこなってください

1 プリントペーパー&インクキット(付属品/別売)を用意します。(15)



2 インクカセットをプリンターに取り付けます。(16)



3 給紙トレイにプリントペーパーを入れ、プリンターに取り付けます。(17)

●プリントするペーパーは、インクカセットと同じ箱のものをお使いください。



4 プリントする映像機器をプリンターに接続します。(18)



5 プリンターの電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押します。

●電源ランプが点灯し、電源が入ります。



準備はここまでです。接続機器の取扱説明書および21 ～ 35ページ(本機とパソコンをUSBケーブルで接続してプリントする)をよくお読みの上、プリントしてください。

著作権について

あなたが、テレビ放送や録画物などからプリントしたものは、個人で楽しむなどの他は、著作権法上の権利者に無断で使用できません。

プリントペーパー&インクキット（別売）について

本機でプリントするときは必ず以下の専用品をお使いください。

商 品	サイズ	セット内容	用 途
PX-K50SF PX-L50SF （スーパーファイン）	キング L	・プリントペーパー　50枚 ・インクカセット　50枚分	お気に入りの場面をプリントして記念写真がわりに。
PX-K25UF PX-L25UF （スーパーファインHG）	キング L	・プリントペーパー　25枚 ・インクカセット　25枚分	記念写真やポストカードに使用します。色褪せが少なく写真のような光沢のあるプリントができます。
PX-L25SFS16 （16プリカットシール）	シール	・プリカットシール　25枚 ・インクカセット　25枚分	オリジナルシールを作ってカードなどに貼ることができます。
PX-L30SFC （官製はがき）	はがき	・インクカセット　30枚分	年賀状などの官製はがきに直接プリントします。

キングサイズ　：100mm×171mm
Lサイズ　：89mm×148mm
シール／はがき　：100mm×148mm
●官製はがきに印刷した場合、スーパーファインやシール紙に比べて画質が劣ります。
●シール紙に印刷すると、印刷位置がずれることがあります。

準備

ご注意

プリント前のご注意

- プリントペーパーは光沢があるプリント面（文字の書いていない面）を上にして給紙トレイに挿入してください。逆に入れますと紙づまりの原因になります。
- 折れたり、曲がったり、そったり、ミシン目が切れたプリントペーパーは使用しないでください。紙づまりや故障の原因になります。
- 濡れたり、湿ったりしているプリントペーパーは絶対に使わないでください。正常に印刷できません。
また、紙づまりや故障の原因になります。
- インクカセットのインクシートを指で触れたり、引き出したりしないでください。
- インクカセットのインクシートを小さなお子様などがなめないようにご注意ください。
- インクカセットを使い切ったときは、新しいものと交換してください。使い切ったインクカセットは使用できません。巻き戻しての再使用はしないでください。
- プリントペーパー&インクキットは高温多湿、直射日光の当たる場所を避けてください。
- プリントペーパーは片面が筆記面になっています。
- プリントペーパーや官製はがきに文字等を記入したり、切手等を貼る場合は、印刷後に記入、貼りつけを行ってください。印刷前に記入、貼りつけを行うと正常に印刷できない場合があります。
- プリントペーパー&インクキットの裏面に記載している注意文もよくお読みのうえ、ご使用ください。

プリント後のご注意

- 印刷されたペーパーを湿った手で持つと変色することがあります。
- ペーパーが揮発性有機溶剤（アルコール・トルエン・ケトン類など）を吸収すると画像が退色します。
- 特にセロハンテープ、軟質塩ビなどに密着させると化学反応で退色が早くなります。
- プリントペーパーへの文字等の記述は、鉛筆か油性の筆記具をお使いください。また、筆記の際に強く書くと、ペーパーに筆記の跡が付く場合があります。

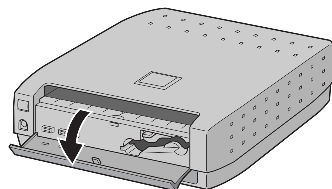
保管上のご注意

- 印刷後のペーパーはなるべく高温多湿､直射日光の当る場所や暖房器具のそばを避けて保管してください。
- 軟質塩ビなどのフォルダーに保管しないでください。化学反応で退色したり、印刷面の色がはがれ、ファイルなどに付着することがあります。
- 印刷された面どうしを重ねたまま､放置しないでください。プリントペーパーがくっつく場合があります。
- プリントペーパーは箱に入れた状態でペーパーが水平になるように保管してください。垂直に置いて保管するとペーパーが曲がり、印刷時に紙づまりの原因となります。

インクカセットの取り付けかた

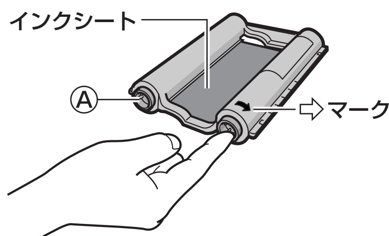
インクカセットを取り付ける

プリントするために付属品または別売のプリントペーパー＆インクキットのインクカセットを取り付けます。

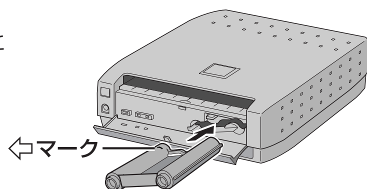


1. ドアを開ける

2. インクシートのたるみを取る
- ⇦ マークがある方のローラーを矢印方向に回転させます。
- Ⓐ部分は回さないでください。



3. インクカセットを取り付ける
- ⇦ マークを奥にして、インクカセットを‘カチッ’と音がするまで差し込みます。



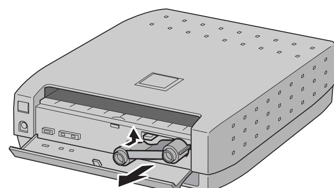
4. ドアを閉める

ドアが確実に閉まると‘カチッ’と音がします。

インクカセットを取りはずすときは

インク取出しレバーを押し上げます。

ロックがはずれ、インクカセットが取りはずせる状態になります。



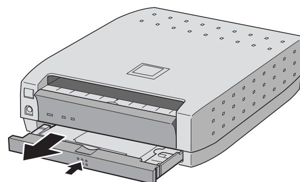
⚠注意

インクカセット収納部に指を入れないでください。
やけどやけがをする恐れがあります。

用紙の入れかた

給紙トレイの取り出しかた／取り付け

● 給紙トレイを１度押してロックを解除してから引き出してください。
● 取り付けるときは、‘カチッ’と音がするまで差し込んでください。



給紙トレイへの用紙の入れかた

1. 用紙のサイズに合わせて、しきり板Ⓐを調整する

2. レバーを押し下げながら用紙を入れる

●**標準紙、オーバーコーティング紙の場合**
用紙の光沢があるプリント面を上にして、ミシン目から余白が広い方をしきり板Ⓑに向けて入れます。最大挿入枚数は、標準紙は25枚です。オーバーコーティング紙は、高画質印画をするため、最大５枚にしてください。

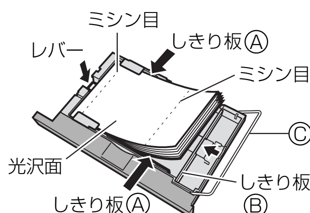
●**シール紙の場合**
用紙の光沢があるプリント面を上にして入れます。(左右の向きは、関係ありません。)最大挿入枚数は、25枚です。

●**官製はがきの場合**
郵便番号欄を下にして、しきり板Ⓑに向けて入れます。最大挿入枚数は、15枚です。

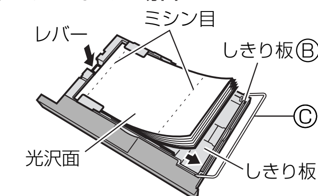
3. 用紙のサイズに合わせて、しきり板Ⓑを調整する

用紙を入れたあとは、Ⓒを‘カチッ’と音がするまで入れてください。

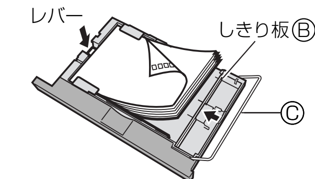
Lサイズの場合



キングサイズの場合



はがき・シール紙の場合



ご注意

- ペーパーは、1枚づつはなれるように、よくさばいてから入れてください。
- 給紙トレイに記載されている「注意事項」もよくお読みください。
- 用紙は光沢があるプリント面(文字の書いていない面)を上にして給紙トレイに挿入してください。逆に入れますと紙づまりの原因になります。(20 ページ)
- 紙づまりになった場合は「専用プリンターに紙づまりがおきたときは」(20 ページ)をお読みください。
- 排紙口から用紙を取り除いてください。排紙口に用紙を２５枚以上(はがきは１５枚以上)ためると、紙づまりの原因になります。

接続のしかた

プリンター端子付き機器からプリントするとき

本機の電源プラグは、異常が発生したときにすぐに抜けるような場所にあるコンセントに差し込んでください。また、プリンターの電源プラグは、テレビやビデオなどの電源コンセントとは別のコンセントに差し込んでください。

プリンター端子付き
デジタルスチルカメラ（ビクター製）

ACアダプター

プリンター
端子へ

▲印を上向き
・接続機器とプリンターコードの▲マークをよく確認して接続するようにしてください。

プリンターコード

プリントデータ
入力端子へ

フェライトコア

▶印を下向き

プリンター

ご注意

- ビクターデジタルビデオカメラ（GR-DVL700）と接続する場合は、端子形状が異なりますので、付属のプリンターコードは使用できません。別売のプリンターコード（QAM0258-001）を最寄りのビクターサービス窓口にてお買い求めください。
  接続するときは、プリンターコードの接続部分と接続機器の端子形状を確認してから取り付けてください。

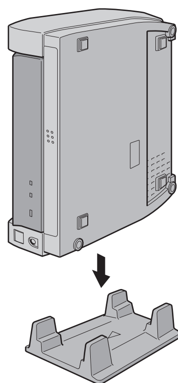


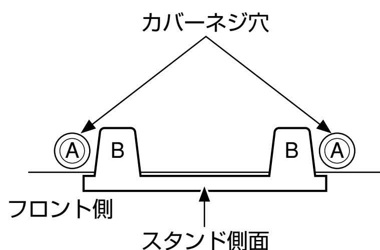
- お使いになる機器の取扱説明書をよくご覧ください。
  お使いになる機器は専用のプリンター出力端子があります。
  機器の取扱説明書でプリンターへ接続する内容を参考にしながら接続してください。

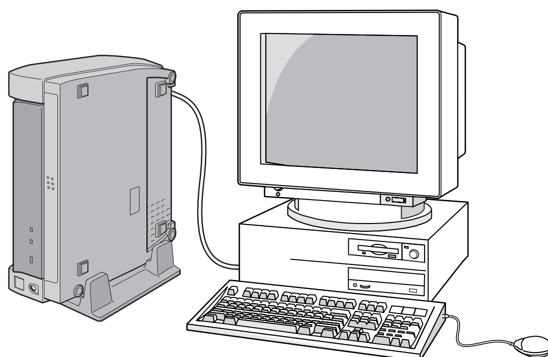
スタンドを使う

狭い場所はスタンドを使う

本機を水平に置いて使用できないときは、プリンターに付属のスタンドを垂直に取り付けて使用してください。







紙づまりのとき

本機に紙づまりがおきたときは

紙づまりが起きたときは、プリンターの電源ボタンを押して電源を切り、再び押して入れ直してください。電源が入ると紙の位置を確認して、リセットする動作を自動的に行い紙が出てきます。
プリンターの変化がないときは、再び電源ボタンを押してください。

この操作を数回繰り返しても紙が出てこないときは、紙づまりの起きた場所によって紙を取り除くか、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

つまった紙が見えるとき

- プリンタ上部の排紙口につまっている紙が見えているときは、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いたあと紙を破かないように注意し、先が細くてつまめるようなもの（ピンセットなど）で取り除きます。紙にインクシートが貼りついている場合もありますのでゆっくり引き出してください。
- インクシートが貼りついている場合、紙からインクシートをゆっくりはがしてから、インクカセットをプリンターからゆっくり取り出してください。
- インクシートが破れていない場合は、インクシートのたるみを取ってから続けてご使用できます。ただし、１回目の印刷時は、きれいに印刷できないことがあります。
  インクシートが破れている場合は、ご使用できません。
- 給紙トレイを入れる場所の奥など、つまった紙が見えても取り除けない場合は、無理に取り除かずに販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

つまった紙が見えないとき

- どこに紙がつまっているか判らないときや、給紙トレイが引っかかって抜けないときは、無理に取り除かずに販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

パソコンプリンター編

for Windows®

- readme.txtファイルには、セットアップに関する追加の情報や、取扱説明書に記載されていない情報が載っています。付属のソフトウェアをインストールする前にお読みください。
- 付属のソフトウェアの最新情報については、wwwサーバに掲載されます。
  <www>http://www.jvc-victor.co.jp/

動作環境について

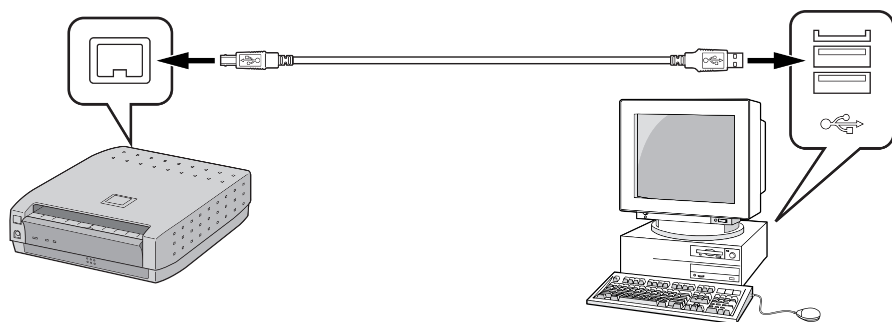
Windows®動作環境は、以下4つの条件をすべて満たしている必要があります。

1. Windows®98がインストールされているコンピュータ
2. USBに対応したコンピュータ
3. コンピュータメーカーによりUSBの動作が保証されているコンピュータ
4. RAM-32MB以上、ディスプレイ表示-256色以上、CPU-MMX150 MHz以上

※ Windows®98は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

パソコン編

USB ケーブルの接続のしかた



ご注意

- 接続機器とUSBケーブルの端子形状をよく確認して、接続するようにしてください。

ソフトのインストール

Windows®98の基本操作については、Windows®98またはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

準備：　Windows®98を起動する

- もしほかのソフトを使用している場合は終了させてください。
（タスクバーにほかのアプリケーションのアイコンがないことを確認してください。）

USB ドライバのインストール

1. 本機(GV-SP2)の電源を入れる

2. 本機とパソコンをUSBケーブルで接続する
- 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面を表示します。

3. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

4. 「次へ」をクリックする



5. 「次へ」をクリックする



6. 「CD-ROMドライブ」がチェックされていることを確認し、「次へ」をクリックする



7. 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」を表示後、「次へ」をクリックする



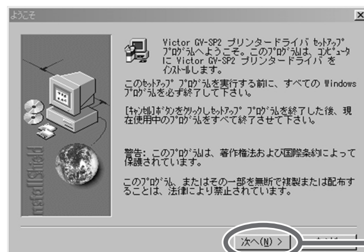
8. 「完了」をクリックする



プリンタドライバのインストールについて

9. 「ようこそ」画面で、「次へ」をクリックする

●「次へ」ボタンをクリックすると、インストールが始まります。



10. 「セットアップの完了」画面で「完了」をクリックする



プリントする

プリントまでの流れ

プリンターの電源を入れてUSBケーブルを接続します

- インクカセットをプリンターに取り付けましたか？（☞ 16 ページ）
- プリンターのランプでプリンターの状態がわかります。

プリントペーパーをセットします

- 給紙トレイにプリントペーパーを入れ、プリンターに取り付けます。（☞ 17 ページ）

プリントデータを作成します

- アプリケーションソフトなどでプリントするデータを作成します。

プリンタドライバでプリント条件を設定します

プリントを実行します

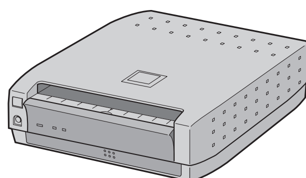
- プリントランプが点滅し、画像データ転送後、プリントが始まります。

画像をプリントする

市販のペイント系ソフトで文字入力や画像の加工を行い、プリントする。

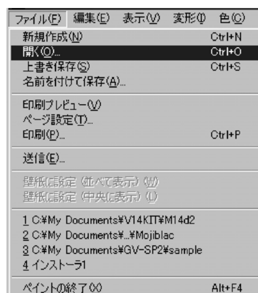
1. プリンターの電源を入れ、USBケーブルを接続する

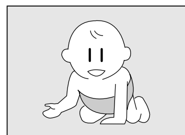
- インクカセット＆プリントペーパーを準備してください。



2. プリントしたい画像を開く

- 「ファイル」－「開く」を選択し、プリントしたい画像のファイル名を選びクリックします。





3. プリントの設定をする

- 「ファイル」－「印刷」を選択し、クリックすると印刷画面が出ます。プリンタ名の項目で「Victor GV-SP2」を選択し、クリックします。
- 「プロパティ(P)…」をクリックし、プリンターの設定画面で、いろいろな設定に変更できます。
（☞ 26 ページ）

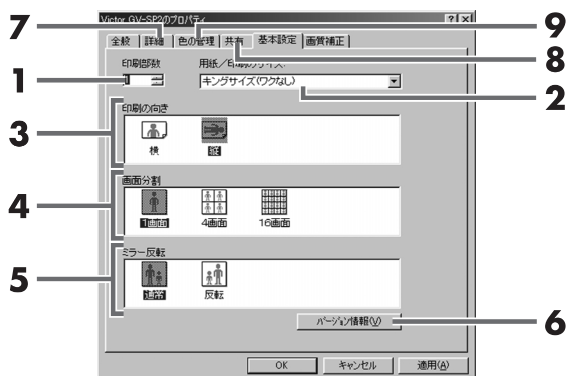


4. プリントする

- 印刷画面で「OK」ボタンをクリックします。

プリンタドライバの設定項目について

プリンタドライバの設定項目は、いくつかのメニュー（ダイアログボックス）に分かれています。ここではそれらメニューの関係と項目の概要を説明しています。



1. プリント枚数

同一画面を連続プリントするときに設定します。1枚〜最大25枚まで設定できます。

2. 用紙のサイズ

プリントする用紙サイズを選択します。

- キングサイズ(ワクなし/ワクあり)
- Lサイズ(ワクなし/ワクあり)
- はがき／シール

3. 印刷の向き

プリントする向きを選択します。
横／縦を選ぶことができます。

4. 画面分割

1 枚の用紙に同じシーンを分割したいときに選択します。

- 1画面/4画面/16画面を選ぶことができます。

5. ミラー反転

プリントする画像の左右を反転してプリントしたいときに選択します。

6. 情報

ＧＶ－ＳＰ２用プリンタドライバのバージョンを表示します。

- 確認後､｢OK｣をクリックしてください。

7. 詳細

各項目の詳細について表示します。

8. 共有

プリンターをほかのユーザーと共有するか選択します。

9. 色の管理

このプリンターに関連付けられているカラープロファイルを選択できます。

通常は、プリント種類と用紙サイズを設定するだけで十分な品質のプリント結果を得ることができますが、さらにプリント品質を向上させる方法のメニューを説明します。



1. 画質調整(色合い)

シアン/マゼンタ/イエローの濃淡を調整して、色合いを変えたいときに選択します。

① シアンの調整

シアン方向に動かすと青緑色がかり、レッド方向に動かすとシアンの補色である赤みが強くなります。

② マゼンタの調整

マゼンタ方向に動かすと赤紫色がかり、グリーン方向に動かすとマゼンタの補正である緑色が強くなります。

③ イエローの調整

イエロー方向に動かすと黄色みが強くなり、ブルー方向に動かすとイエローの補色である青みが強くなります。

- それぞれの強さをバーで調整できます。
  標準を0として、−100〜+100の間で調整します。

2. 明るさの調整

プリント出力の結果がディスプレイ表示に比べて、色が暗い、または色が明るくとんでしまうときに調整します。

- 画像全体の明るさをバーで調整します。
  標準を0として、−100〜+100の間で暗方向には暗く、明方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。

3. コントラストの調整

画像全体の明暗の差がはっきりしない、プリンタ出力の結果がディスプレイ表示に比べて全体的にぼやけているときに調整します。

- 画像の明暗比をバーで調整します。標準を0として、−100〜+100の間で調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。

プリントできないとき

次の項目を確認してください。

1. 「マイコンピュータ」－「プリンタ」を選び、「Victor GV-SP2」で右クリックし、「プロパティ」を選択します。

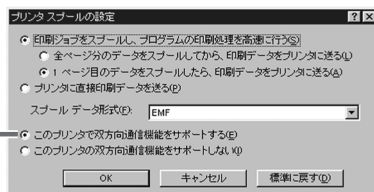


2. ［詳細］－［印刷先のポート］を「SP2PORT:(JVC GV-SP2 PDD Port)」にします。

3. ［印刷に使用するドライバ］を「Victor GV-SP2」にします。



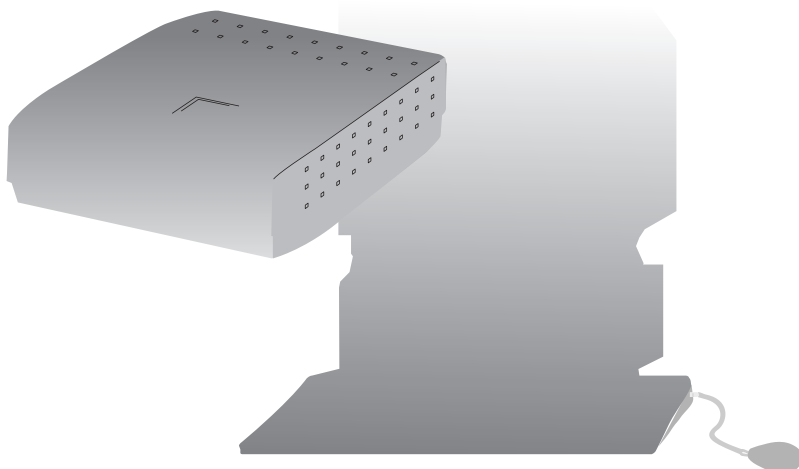
4. 「スプールの設定」をクリックすると、「プリンタスプールの設定」を表示します。
「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」を選択してください。



パソコンプリンター編

for Macintosh®

- ハードディスク内の「GV-SP2 について」ファイルには、セットアップに関する追加の情報や、取扱説明書に記載されていない情報が載っています。付属のソフトウェアをインストールする前にお読みください。
- 付属のソフトウェアの最新情報については、wwwサーバに掲載されます。
  <www>http://www.jvc-victor.co.jp/



動作環境／接続のしかた

動作環境について

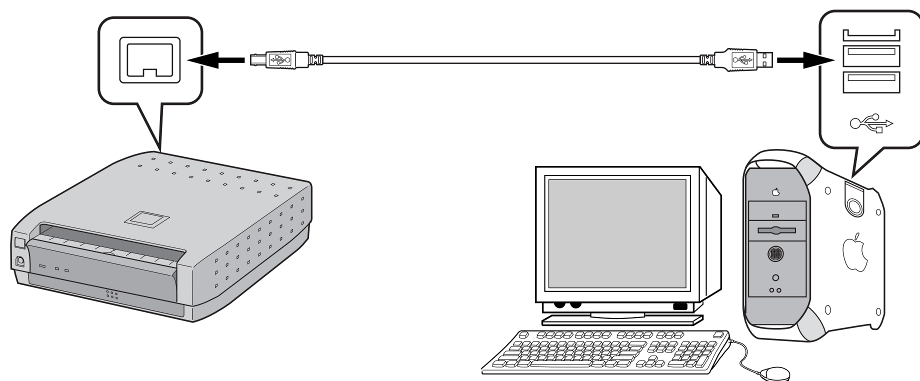
Macintosh®動作環境は、以下2つの条件をすべて満たしている必要があります。

1．Mac OS 8.6/MAC OS 9.0以上がインストールされているコンピュータ
（RAM-64MB以上を推奨します）

2．USBポートを内蔵したコンピュータ
（iMac™, iBook™, Power Mac™G3/G4, PowerBook™G3）

※Macintosh®は米国アップルコンピュータ社の商標です。

USB ケーブルの接続のしかた



ご注意

- 接続機器とUSBケーブルの端子形状をよく確認して、接続するようにしてください。

ソフトのインストール

USB ドライバ／プリンタドライバのインストールについて

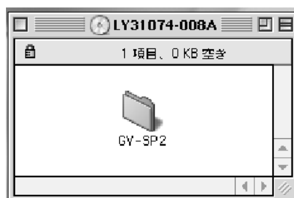
Macintosh®の基本操作については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

準備：　Macintosh® を起動する

- もしほかのソフトを使用している場合は終了させてください。
- 本機（GV-SP2）の電源を入れ、本機とパソコンをUSBケーブルで接続してください。

1. 付属のCD−ROMをCD−ROMドライブに挿入する

2. CD−ROMアイコンをダブルクリックする



3. 「GV-SP2」フォルダをダブルクリックし、「インストーラ」アイコンをダブルクリックする



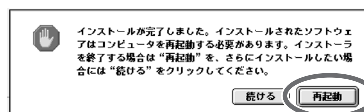
4. 「インストール」をクリックする

●ソフトのインストールが始まります。



5. Macintoshを再起動する

●これでインストールは完了です。



プリントする

プリントまでの流れ

プリンターの電源を入れてUSBケーブルを接続します



- インクカセットをプリンターに取り付けましたか？（☞ 16 ページ）
- プリンターのランプでプリンターの状態がわかります。

セレクタでGV－SP2を選択します



用紙を設定してプリントデータを作成します

- アプリケーションソフトで用紙を設定し、プリントデータを作成します。



プリンタドライバでプリント条件を設定します



プリントを実行します

- プリントランプが点滅し、画像データ転送後、プリントが始まります。

ご注意

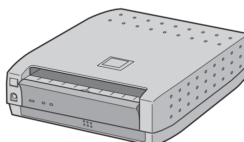
- プリンターの電源を入れ、USBケーブルを接続したあとにパソコンを起動してください。

画像をプリントする

市販のペイント系ソフトで文字入力や画像の加工を行い、プリントする。

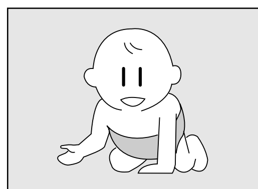
1. プリンターの電源を入れ､USBケーブルを接続する

●インクカセット＆プリントペーパーを準備してください。



2. プリントしたい画像を開く

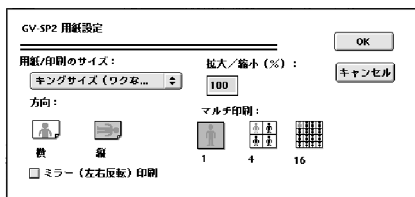
●｢ファイル｣－｢開く｣を選択し､プリントしたい画像のファイル名を選びクリックします。

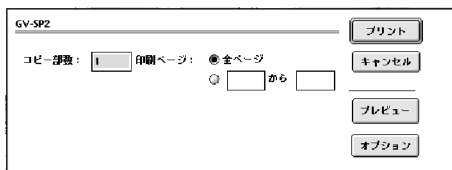


3. プリントの設定をする

●｢ファイル｣－｢用紙設定｣を選択し､クリックすると用紙設定画面が出ます。用紙サイズなどの項目を選択し､設定してください。(☞ 34 ページ)

●｢ファイル｣－｢プリント｣を選択し､クリックするとプリント画面が出ます。プリント枚数や､オプションの設定画面で画質調整をすることができます。(☞ 35 ページ)





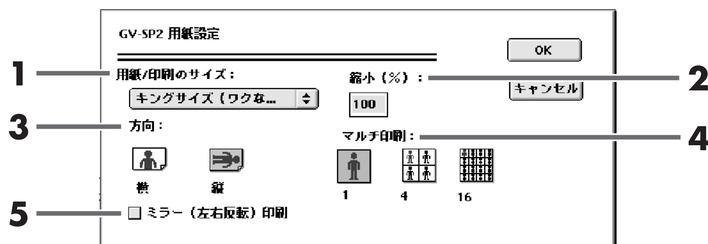
4. プリントする

●印刷画面で｢プリント｣ボタンをクリックします。

パソコン編

用紙設定ダイアログの設定項目について

用紙設定ダイアログの設定項目は、いくつかの項目に分かれています。
ここではそれらの項目の概要を説明しています。



1. 用紙のサイズ

プリントする用紙サイズを選択します。

- キングサイズ(ワクなし/ワクあり)
- Lサイズ(ワクなし/ワクあり)
- はがき／シール

2. 縮小率

プリントするときの縮小率を設定できます。ただし、特定のアプリケーションソフトと用紙サイズの組み合わせによっては縮小の設定範囲が変わることがあります。

3. 印刷の向き

プリントする向きを選択します。
横／縦を選ぶことができます。

4. マルチ印刷

１枚の用紙に同じシーンを分割したいときに選択します。

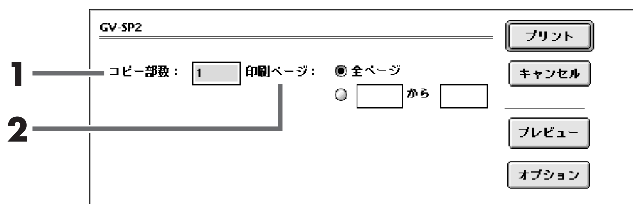
- １画面/4画面/16画面を選ぶことができます。

5. ミラー反転

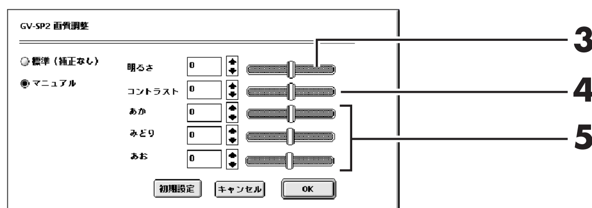
プリントする画像の左右を反転してプリントしたいときに選択します。

プリントダイアログの設定項目について

通常は、プリント種類と用紙サイズを設定するだけで十分な品質のプリント結果を得ることができますが、さらにプリント品質を向上させる方法のメニューを説明します。



オプション画面



1. プリント枚数

同一画面を連続プリントするときに設定します。1枚～最大25枚まで設定できます。

2. 印刷ページ

印刷ページを指定します。「全ページ」を選択すると画像の全ページを印刷します。
印刷するページを指定するときに設定できます。

3. 明るさの調整

プリント出力の結果がディスプレイ表示に比べて、色が暗い、または色が明るくとんでしまうときに調整します。

- 画像全体の明るさをバーで調整します。標準を0として、－100～+100の間で暗方向には暗く、明方向には明るくなります。
  全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。

4. コントラストの調整

画像全体の明暗の差がはっきりしない、プリント出力の結果がディスプレイ表示に比べて全体的にぼやけているときに調整します。

- 画像の明暗比をバーで調整します。標準を0として、－100～+100の間で調整します。
  コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。

5. 画質調整（色合い）

シアン･マゼンタ･イエローの濃淡を調整して、色合いを変えたいときに選択します。

①あかの調整

左方向に上げると青緑色がかり、右方向に下げるとシアンの補色である赤みが強くなります。

②みどりの調整

左方向に上げると赤紫色がかり、右方向に下げるとマゼンタの補正である緑色が強くなります。

③あおの調整

左方向に上げると黄色みが強くなり、右方向に下げるとイエローの補色である青みが強くなります。

- それぞれの強さをバーで調整できます。標準を0として、－100～+100の間で調整します。

こんなときは

パソコン側の画面上にこのようなメッセージが出てきたら

メッセージ内容	●このようなときに表示されます ■このように処置します	参照ページ
指定された数値は最大印刷数を超えています。	■最大印刷枚数を超えないように設定してください。	26, 35
指定された数値は最小印刷数を超えています。	■「0」以外の数値を入力してください。	26,35
インクカセットを入れてください。	●インクカセットを取り付けていないか、インクカセットをきちんと挿入していないと表示します。 ■インクカセットを挿入し、ドアを閉めてください。	16
給紙トレイを抜いて、ペーパーを確認してください。	●プリントペーパーが無いときに表示します。 ■プリントペーパーを入れてください。	17
給紙トレイを入れてください。	●給紙トレイが装着されていないときに表示します。 ■給紙トレイを装着してください。	17
インクカセットを交換してください。	●インクカセットを使い切っていると表示します。 ■新しいものに交換してください。	16
	●パソコン側で設定した用紙サイズとインクカセットの種類が合っていないときに表示します。 ■パソコン側で設定した用紙サイズとインクカセットを確認してください。	26, 34
インクカセットを確認してください。	●破損したインクカセットを挿入したときに表示します。 ■新しいものに交換してください。	16
ペーパーの種類が違います。給紙トレイを抜いて、ペーパーを確認してください。(Windows® 版)	●パソコン側で設定した用紙サイズとプリントペーパーの種類が合っていないときに表示します。 ■パソコン側で設定した用紙サイズとプリントペーパーを確認してください。	17, 26
ペーパーの種類が違います。プリント処理を中止します。(Macintosh® 版)	●パソコン側で設定した用紙サイズとプリントペーパーの種類が合っていないときに表示します。 ■パソコン側で設定した用紙サイズとプリントペーパーを確認してください。	17, 34
プリンタの温度が上昇しています。しばらくお待ちください。	■プリンター内部の温度が上昇し、プリンターを冷却するときに表示します。	—
プリンタが使用できない状態です。プリント処理を中止します。	●プリント中に、紙づまりが起きると表示します。 ■ 20 ページをご覧いただき、プリントペーパーを取り除いてください。	20
	●プリンターが他の機器で使用されているときに表示します。 ■他の機器でのプリント終了後、プリントしてください。	—

メッセージ内容	●このようなときに表示されます ■このように処置します	参照ページ
プリンタが接続されていないか、電源が入っていません。プリント処理を中止します。	●プリンターの電源が入っていないときや、正しく接続されていないときに表示します。 ■正しく接続したあと、プリンターの電源を入れてください。	21, 30
プリントデータが転送されていません。プリント処理を中止します。	●プリンターへ印刷データを送信しないで印刷しようとしたときに表示します。 ■パソコン側に画像を取り込んだあと、印刷してください	25, 33
データ転送エラーです。プリント処理を中止します。	●プリンターへ画像送信中に、USBケーブルの接触不良などにより、送信できなかったときに表示します。 ■USBケーブルの接続を確認してから印刷をしてください。	21, 30
プリントエラーです。プリント処理を中止します。	●プリントペーパーの表裏または向きが正しくありません。 ■ 17 ページをご覧いただき、プリントペーパーを正しく入れてください。	17
	●正常にプリントできなかったときに表示します。 ■排紙されたプリントペーパーを取り除いてください。	—
プリントを中止しますか？	■印刷中にプリントを中止したいときは、「停止」をクリックしてください。	—
メモリが不足しています。プリント処理を中止します。	●パソコンのメモリー容量が不足しているときに表示します。 ■メモリーの増設をしてください。また、他のソフトを使用している場合は終了させてください。	—
スプーラからデータが削除されました。印字処理を中止します。	●スプーラから印刷データを削除したときに表示します。 ■印刷し直すときは、再度印刷の操作をしてください。	25, 33
双方向通信がサポートされていません。プリンタのプロパティから双方向通信を有効にしてください。	■[プロパティ]ー[詳細]の「スプールの設定」をクリックすると、「プリンタスプールの設定」を表示します。「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」を選択してください。	28
スプールの設定が正しくありません。設定を自動変更します。OKボタンを押してから、印刷をやりなおしてください。	●[プロパティ]ー[詳細]の「スプールの設定」が正しくありません。 ■画面のメッセージ内容にしたがって操作してください。	28
データが違います。プリンタドライバを確認して下さい。	●本機のUSBドライバを本機以外のプリンターで印刷するときに表示します。 ■使用するプリンターの機種を確認し、プリンターのプロパティの「印刷先のポート」で、使用するプリンターを確認してください。	28
リソースが取得できません。必要なリソースファイルがあるか確認して下さい。	●プリンタードライバのインストールが正常に行われていません。 ■もう一度、インストールし直してください。	22, 31

サービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		北海道		
北海道	札幌S.C.	(011) 898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144) 34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166) 61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157) 25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154) 24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155) 24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138) 46-5324	041-0806	函館市美原3-16-25
		東北		
青森	青森S.C.	(0177) 23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178) 44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172) 28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019) 637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197) 22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018) 824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186) 43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182) 32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022) 287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225) 94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023) 642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234) 26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024) 952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246) 28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242) 32-0247	965-0022	会津若松市滝沢町1-5
	福島S.S.	(024) 553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
		関東・甲信越		
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025) 241-4003	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025) 242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258) 24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上越S.S.	(0255) 45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026) 221-7607	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026) 221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263) 25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027) 255-5982	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027) 255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028) 635-2938	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028) 638-1639	320-0864	宇都宮市住吉町17-9
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	土浦S.C.	(0298) 21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029) 246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055) 227-5773	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055) 237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		千葉		
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043) 246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438) 23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏S.C.	(0471) 75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047) 353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
		東京		
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03) 5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03) 3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03) 3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03) 3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426) 46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03) 3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
		埼玉		
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048) 654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048) 553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川越S.S.	(0492) 42-4496	350-1106	川越市小室491-1
		神奈川		
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045) 651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468) 34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044) 975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463) 36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042) 776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
		静岡		
静岡	静岡S.C.	(054) 282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559) 22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053) 421-3441	435-0041	浜松市北島町785
		東海・北陸		
愛知	名古屋S.C.	(0568) 25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.S.	(0564) 26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊橋S.S.	(0532) 64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058) 274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593) 52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059) 229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076) 425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076) 269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776) 53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0100

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		近　畿		
滋　賀	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	滋　賀S.S.	(077) 582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都南部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京　都S.C.	(075) 313-3189	600-8861	京都市下京区七条御所ノ内北町91
京都北部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	福知山S.S.	(0773) 22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈　良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈　良S.S.	(07442) 4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大　阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06) 6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺　S.C.	(0722) 54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	業務機器C	(06) 6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	和歌山S.S.	(0734) 72-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田　辺S.S.	(0739) 22-9914	646-0023	田辺市文里1-19-18
兵庫東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神　戸S.C.	(078) 252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
	明　石S.S	(078) 924-1104	673-0018	明石市西明石北町3-12-9 小西ビル1F
兵庫西部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	姫　路S.S.	(0792) 34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		中　国		
岡　山	岡　山S.C.	(086) 243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広　島	広　島S.C.	(082) 243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福　山S.S.	(0849) 31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山　口	山　口S.C.	(0839) 73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳　山S.S.	(0834) 27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下　関S.S.	(0832) 51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
		四　国		
香　川	高　松S.C.	(087) 866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳　島	徳　島S.C.	(088) 622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高　知	高　知S.S.	(088) 882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛　媛	松　山S.C.	(089) 923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895) 20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897) 67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
		九　州・沖　縄		
福　岡	福　岡S.C.	(092) 431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.C.	(0942) 39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093) 921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐　賀	佐　賀S.S.	(0952) 26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長　崎	長　崎S.C.	(095) 862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956) 33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大　分	大　分S.C.	(097) 543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊　本	熊　本S.C.	(096) 353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮　崎	宮　崎S.S.	(0985) 24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延　岡S.S.	(0982) 35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099) 282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖　縄	沖　縄S.C.	(098) 898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
		山　陰		
島　根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)	(0852) 31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853) 21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855) 22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥　取	鳥取営業所サービス係	(0857) 23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口

カナダ　**JVC CANADA INC.**
・トロント　〔416-293-1311〕
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ　**JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA**
・ロサンゼルス　〔714-229-8011〕
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
・ニュージャージー　〔973-396-1000〕
10 New Maple Avenue, Pine Brook, NJ 07058-9641
・ホノルル　〔808-833-5828〕
2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス　**JVC（U.K.）LIMITED**
・ロンドン　〔0208-450-3282〕
JVC BUSINESS PARK, 14 Priestley Way, London NW2 7BA

フランス　**JVC FRANCE S.A.**
・パリ　〔01-61-04-11-11〕
1, Avenue, Eiffel 78422 Carrieres Sur Seine Cedex

シンガポール　**JVC ASIA PTE. LTD.**
・シンガポール　〔255-8155〕
31Kaki Bukit Roard 3, #06-18 Techlink, Singapore 417818

(注)・その他の地域に関しては、おでかけの前にお客様ご相談センターにご相談ください。・海外では日本の保証書は適用されません。
・日本語での対応はできないサービスセンターもございます。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(03) 5684-9311	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル
	(06) 6765-4161	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16　大阪ビクタービル

保証とアフターサービス

ソフトウェアの扱いにつきましては、ソフトウェア製品使用許諾契約書に従います。

保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、プリンターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（38 ～ 39 ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

36 ～ 37 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
万一本機およびインクカセットなどの不具合により、正常にプリントできなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

ご連絡していただきたい内容

品　名	システムプリンター
型　名	GV-SP2
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	
お　名　前	
電話番号	（　　　）　　ー

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

愛情点検 ●長年ご使用のプリンターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●映像が乱れたり、きれいに映らない。 ●電源プラグ、コードが異常に熱い。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常な故障がある。	➡	ご使用を中　止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

美しい画面をプリントしていただくために

プリンターは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなりますので、定期的に点検整備されることをおすすめいたします。

主な仕様

項　　目	仕　　様
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	プリント時：約74W（電源「切」時：約2W)
信号方式	NTSC日米標準信号
許容動作温度	＋5℃～＋35℃
許容相対湿度	35%～80%
許容保存温度	－20℃～＋60℃
設置条件	動作姿勢水平±5°
プリント画素数	キングサイズ(枠無)1220ドット×1828ドット、(枠有)1152×1536ドット Lサイズ　(枠無)1085ドット×1548ドット、(枠有)1024×1360ドット シール紙　1024ドット×1360ドット
解像度	310dpi
プリントサイズ	キングサイズ（枠無）100mm×150mm、（枠有）94.4mm×125.9mm Lサイズ　（枠無）89mm×127mm、（枠有）83.9mm×111.6mm シール紙　83.9mm×111.6mm
プリントスピード	キングサイズ（標準紙）80秒、(オーバーコート紙）105秒 Lサイズ　（標準紙）75秒、(オーバーコート紙）95秒
給紙方式	給紙トレイ、自動給紙25枚（標準紙）
インクシート	専用カセット方式
入力端子	プリントデータ入力端子
外形寸法	262mm×79mm×253.5mm（幅×高さ×奥行き）
質量	2.2kg（給紙トレイ含む）

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

●このプリンターは日本国内のみ使用できます。外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This Printer is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

索引

あ

か

さ

た

は

や

アルファベット

メモ

その他





故障かな？と思ったら

修理に出す前に 36 ～ 37 ページをご確認ください。

修理相談

「お買い上げ販売店」へご相談ください。

ご転居等で保証書記載のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は 40 ページの「保証とアフターサービス」をお読みの上 38 ～ 39 ページの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。

お買物相談

お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は「お客様ご相談センター」にご相談ください。

東京お客様ご相談センター

☎ (03) 5684-9311

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪お客様ご相談センター

☎ (06) 765-4161

〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ

インターネット上にビクターのホームページを設けました。

ホームページアドレス

http://www.jvc-victor.co.jp/



JVC

日本ビクター株式会社

ビデオ事業部

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話（045）450-2550

0300TYV＊SW＊VP